

議会だより

**4月3日
保育所入園式**



■ 一般会計予算賛成討論	2 ~ 3
■ 町長所信表明	4 ~ 5
■ 予算・条例等の委員会審議内容	6 ~ 12
■ 各種団体の皆様との意見交換会	13

■ 委員会所管事務調査	13 ~ 15
■ 一般質問（武藤議員）	16
■ コミュニケーション広場 （ST西桂）	17

を上げられるよう、 の努力を

一般会計予算賛成討論

武藤 隆義 議員



新型コロナウイルス感染症の感染拡大、WHOによるパンデミック宣言に伴い、日本中が自粛ムード一色で日に経済状況が悪化し、停滞感が漂っており、国内外にわたり、スポーツ大会の中止や延期が相次いでおります。緩やかに回復が続いているとされているものの、景気の動向は一転して東日本大震災やリーマンショック級の落ち込みに転じる見込みになり、中小企業や個人事業主の事業縮小や破綻が現実のものとなっています。

そのような状況下に編成された当町の令和2年度西桂町一般会計当初予算は、総額24億2888万2千円であり、前年度当初予算と比較して7942万5千円の増額、率にして3.4%の増となり、総額24億円超えの大型予算となっています。

歳入において、町税では、景気の緩やかに回復が見える中、4億2724万8千円を計上、前年度比671万7千円、率にして1.6%の増となっています。

地方交付税においては特別交付税の過去数年の実績に伴い、昨年度比1800万円、率にして1.9%の増を見込んでおり、基金については、財政調整基金8300万円、減債基金1億5000万円、公共施設整備基金6300万円の繰入を行い、財源確保を図っております。町債においては、

臨時財政対策債4850万円、緊急防災・減災事業債2億930万円の借入れを行っており、限られた財源の中で、充当率100%で交付税算入される起債を活用するなど、町の努力が見られるものであります。

歳出においては、福祉ニーズの増大に伴う扶助費等の社会保障経費や公共施設の維持管理及び老朽化に伴う改修費の増加など、財政運営は、厳しさを増しています。

このような財政状況の中、4月から小中学校給食無償化が実現されることとなりました。従来から実施されている子ども医療費無償化や入学就職支度金助成に加えての学校給食無償化事業により、保護者の負担を軽減するためのものであり、私といたしましては大いに賛同するものであります。

また、ハード面においては、防災行政無線更新のための防災情報伝達システム整備事業に約1億9000万円の投資が行われます。当該システムは従来の戸別受信機に加え、スマートフォンやパソコン、タブレットなどでも受信可能、かつ双方向通信もできるとのこと、新しい技術を駆使した情報通信網の導入に期待するところでありますが、一方で高齢者などの情報通信弱者のフォローにも十分配慮されるようお願いするところであります。

また、高齢者や日中独居の方々など

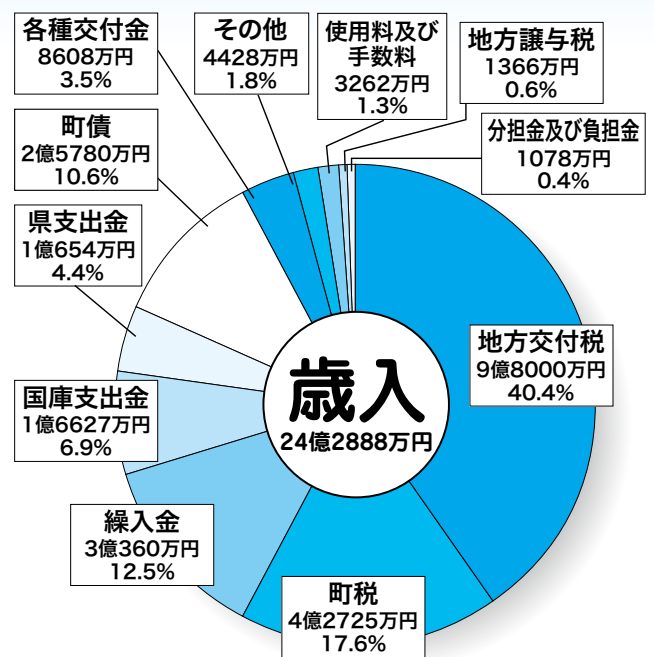
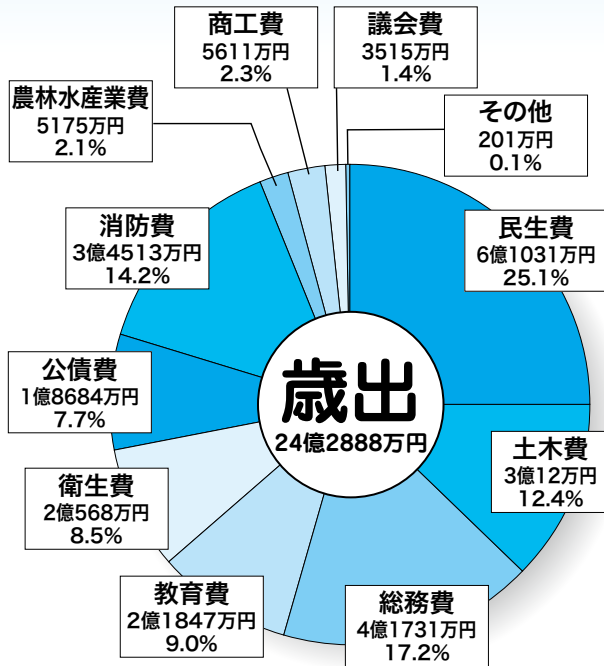
の交通弱者、買い物や日常生活での移動に困難をきたしている方々に対して意向調査を実施するための経費が盛り込まれるなど、きめ細かな町民ニーズ調査を行うことはきわめて重要だと思っております。町民の福祉向上につながる事業は行政と町民の意思疎通により事業展開を図ることが成功への鍵となると思っております。

他方で、予算案の中には従来の説明と異なる目的での事業執行を図るための予算や、全く新しい施策であるにもかかわらず、町民の意向が十分反映されていないのではないかという予算が計上されています。役場駐車場予定地整地事業につきましては新庁舎建設計画を早期に議会及び町民の皆さまに提示された後に、コンセンサスを得た中で予算執行をお願いいたします。

小林町長におかれましては、今定例町議会の所信で述べられた「第5次長期総合計画は、令和2年度が当該計画における10年間の集大成となるため、地域と行政、行政と議会が連携し、一丸となつて町民主体のまちづくりを成し遂げてまいりたい。」とする言葉のとおり、各事業に対する計画の重要性を再認識していただき、最小の予算で最大の効果が上げられるよう、なお一層の努力をお願いいたしまして、令和2年度一般会計予算についての私の賛成討論といたします。

最小の予算で最大の効果 なお一層

令和2年度 西桂町一般会計当初予算



■基金(貯金)残高15億1211万円(約36万円)

■地方債(借金)残高

普通債 5億9281万円(約14万円)

臨時財政対策債 10億8677万円

※ 左記の額は一般会計令和元年度末見込みです。

※〔 〕内はR2年4月1日現在人口4,238人で割った一人当たり額

※ 臨時財政対策債は、地方交付税で100%財源が措置される地方債です。

一般会計の主要事業及び主な新規事業

歳入 ● 小中学校給食費無償化の実施による収入の減 …… 1,500万円

歳出 ● 防災情報伝達システム整備経費(デジタル化)(新規) 1億9,121万円
 ● (仮称)宮作橋下部工右岸側工事経費(継続) …… 5,060万円
 ● 第1・4・5分団軽積載車導入経費(継続) …… 2,257万円
 ● 池の頭二号線拡幅工事(新規) …… 2,000万円
 ● 大橋補強補修設計委託経費(新規) …… 1,320万円
 ● いきいき健康福祉センター特殊浴槽更新経費(新規) 1,000万円
 ● ふれあい館ボイラー更新工事経費(新規) …… 1,000万円
 ● 町営住宅長寿命化計画策定経費(新規) …… 498万円



防災無線デジタル化

小中学校給食無償化

参画と協働による まちづくり

昨年8月から「西桂町第6次長期総合計画」を総合計画審議会により策定中であり、当町においては、人口減少・少子高齢化の進行、安全・安心意識の高揚、地方分権の伸展、官民連携の拡大、気候変動や環境問題の拡大など、大きく変化する社会情勢のなか、老朽化した都市インフラへの対応や機能充実、連携型まちづくりの推進など、将来を見据えて乗り越えなければならぬ課題が山積しております。

第6次長期総合計画では、山梨県と同様に、計画の中に新たな「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関する施策についての基本計画の性質を合わせ持った計画の策定に向けて全力で取り組んでまいります。

昨年より町民有志で結成した「競馬山桜の会」が西桂町協働事業提案制度

を活用し、競馬山の魅力を創出し、新たな遊歩道整備や名所づくりに大きな仕事を成し遂げております。町民の、

町民による、西桂町のための活動が協働という形で成果を生むことが持続可能なまちづくりには必要であり、「西桂町協働事業提案制度」はこのための手段として有効であると考え、引き続き実施していく考えております。

また、新たに東京大学の学生との連携を通じ、令和3年に操業を開始予定のサーモンの陸上養殖事業との連携事業を創出し、サーモンを活用した町のブランド化の推進及びプロモーション方法の提案など、当該事業より派生する地域活性化策を提案していただく考えております。

地域防災の推進

防災意識の高揚を図るために、今年度も各地区区長を初め、防災リーダー

等の協力のもと、町内5地区において発生する災害を想定した地域防災訓練を実施し、町民の防災意識の高揚を図る考えております。

また、アナログによる現防災無線が令和4年11月で利用できなくなることを受け、令和2年度にデジタル化への移行を目指し、防災無線のデジタル化による情報発信の充実強化やシステム整備に努めてまいります。

消防団の消火活動においては、平成30年度より消防車両等の機能強化を目的に、計画的に車両等の導入を図ってまいりました。令和2年度では、第1分団、第4分団、第5分団の積載車両等の整備を図ってまいります。

(仮称)宮作橋新設事業につきましては、令和元年度には下部工(左岸)、令和2年度には下部工(右岸)、令和3年度には上部工を施工し橋梁新設を完了する計画となっております。

保健・医療の充実

「忙しいから」「検査会場が遠いから」など検診を避けている未受診者を対象に、自宅で簡単に血液が採取可能な「かんたん検診」を行い、生活習慣病の予防や健康意識の醸成を図ってまいります。



西桂保育所 年少児

子育て支援の推進

子育て世帯の経済的負担の軽減を図る「幼児教育・保育の無償化」が昨年10月から導入され、委託・受託児童への給食費を無償とし、3歳未満児におきましても、第2子における保育料の軽減を引き続きおこない、子育てがしやすい環境が提供できるよう推進してまいります。

農林業の振興

農地の保全を目的とした県単鳥獣害防除事業を令和元年度に柿園・四方内地区へ電気柵の設置を年次計画で開始いたしました。

令和2年度 各会計当初予算計上額 賛成全員

会 計	予 算 総 額	前年度との比較
一般会計	24億2,888万円	7,943万円
国民健康保険特別会計	3億6,965万円	424万円
後期高齢者医療特別会計	9,312万円	680万円
介護保険特別会計	4億1,423万円	6,364万円
介護予防支援事業特別会計	80万円	23万円
簡易水道特別会計	1億 190万円	3,119万円
下水道特別会計	2億1,145万円	1,374万円
合 計	36億2,003万円	1億9,927万円

商工業の振興

令和2年度においても、下暮地尾尻地区の電気柵と連結した設置で、地域住民および耕作者に対し鳥獣被害の減少を図ってまいります。

林業振興につきましては、所有者自らが管理できない林地の林業経営者への集積と生産性の低い林地の町による委託管理を来年度以降実施できるよう、森林環境基金への積立を行ってまいります。

昨年10月に山梨県、NESSIC陸上養殖株式会社、富士ピュア株式会社と地域活性化協定を締結し、NESSIC陸上養殖株式会社による陸上養殖事業が円滑に遂行できるよう連携・協力し地域活性化を推進しております、本年1月には、農業振興地域から除外が許可され、農地法および開発行為の手続きを3月中に提出してまいります。

西桂町営住宅設置及び管理条例の改正

老朽化した町営住宅の維持・管理は、年々多額の費用を必要としております。また、単身高齢者や若者単身者を支援する、住宅施策の見直しをすることにより、人口の増加や入居率の向

道路交通網・公共交通体系の確立

上を図ることが重要と考えます。

このため、入居要件を緩和し、県内に就職を希望する就業者であれば単身入居を可能とし、公営住宅を取り巻く最近の状況を踏まえ、民法の一部改正に伴い債券関係の規定を見直すことにより、定住化の促進につながるよう、公共施設や住環境の整備に努めてまいります。

地方における自動車社会の進展は、バスや鉄道といった公共交通の需要を減少させ、当町においても平成21年に路線バスが廃止となり、公共交通を取り巻く経営環境は厳しい状況となっていることは言うまでもありません。町では、地域の公共交通を支える新たな交通システムを検討するため、高齢者や障害者を主に地域住民の意見を聞く中で、令和2年度において最もよい移動支援の在り方を模索し、実施に向けて検討してまいります。

新型コロナウイルスの学校教育への影響

学校の休校は感染拡大防止に有効なことは理解しておりますが、社会や経済が機能不全になることから、子ども

教育行政の推進

の安全・保護と感染防止のバランスをどうとるか、西桂町の実情を踏まえて取り組んでまいります。

令和2年度においては、児童・生徒をもつ保護者の経済的負担を軽減するとともに、児童・生徒の健全な育成を支援するため、学校給食の無償化を実施してまいります。

小学校ではプログラミング教育が必修化されました。これを受け、児童・生徒1人1台端末および高速通信ネットワークを整備するGIGAスクール構想に基づき、令和2年度で校内ネットワークを整備し、端末につきましても順次整備してまいります。



西桂小学校 学校給食の様子

令和2年度一般会計予算

（主な委員質疑）

【歳入】

山崎議員 森林環境譲与税は森林整備のための新しい財源ですが、どのような新しい施策をお考えですか。

産業振興課長 この譲与税は令和元年度の補正予算から予算化され、森林所有者意向調査を行いました。本年度も引き続き調査を継続し、残金は基金に積み立てて山際から整備していきたいと考えています。また、森林従事者を育成していきたいと思っています。

柏木議員 法人事業税交付金はどんなものですか。

税務住民課長 令和元年10月1日以降、法人税率が減率となりましたので、その補填としての交付金です。

【歳出】

武藤議員 役場駐車場用地整地事業ですが、現庁舎が耐震基準を満たしていないことにより危険性が大きく、バリアフリー化も図られていないことから新庁舎の必要性が高まっています。また、いきいきセンターでのショートステイ事業実施、それに伴い福祉保健課を新たな場所に移設するとも聞いておりますし、先の委員会では町長も「ショートステイは収益が上がる事業なので早期に実施したい」旨の話をさ

れました。役場新庁舎建設を早期に実施し、ワンストップサービスの実現に向けて議会に説明をしていただきたいと思っています。

総務課長 目的等を盛り込んだ計画を早期に作成し、作成した際には議会に諮っていききたいと考えています。

武藤議員 目的は既に決まっていますよ、新庁舎建設だと。執行部にはタイムスケジュールを提示していただいた方がいいのですが。

総務課長 新年度に整備計画におけるスケジュールを作成し、議会に諮ってまいります。

町長 土地所有者の前田さんには役場新庁舎の用地として売っていただきました。議会及び住民の皆さまにしっかりとした計画をお示ししていきたいと思っています。

武藤議員 この問題についてはスピード感を持って取り組んでいただきたいと思っています。

山崎議員 東海地震などの地震確率が日に日に高まっていますので、新庁舎建設は早急に取り組まなければならない課題です。バリアフリーを早急にしてほしいとの要望もあります。町長にお願いですが、駐車場用地整地工事費として予算に計上されていますが、新庁舎建設計画が策定され、議会に示されるまでは駐車場用地整地工事費は執

行しないようお願いします。

町長 あくまでも新庁舎建設予定地です。基金の状況を見ながら計画を立てていきたいと思っています。今回の駐車場用地整地工事費は現庁舎の用地が狭いために予算に計上しましたが、総合的に計画を立て直して整備を図り、議員のご意見を聞いていきたいと考えています。

武藤議員 ふるさと応援寄附金は歳入の予算が昨年度の100万円から150万円に増えており、経費は78万6千円となっています。是非この収入が増えるようにしていただきたいと思いますが、何か新しい企画等はあるのでしょうか。

総務課長 現在トラストバンクとサイネックスに委託しておりますが、大手の「さとふる」や体験型返戻品を主としている「さといいこ」とも契約していきたいと考えています。また、職員からアイデアを募集していますので、これも含めて検討しているところです。



新庁舎建設予定地

役場新庁舎建設の ふるさと納税増収

武藤議員 富士吉田市では専門組織を新設して大きな成果を上げております。町でも若い職員でプロジェクトチームを組織するなど、従来と違う方法を模索していただきたいと思います。

総務課長 検案件数の多い業者と新たに契約するものです。元年度では今のところ25名、延べ33件の寄附があり、102万円の収入がありました。

山崎議員 地域公共交通会議の委員の半数以上が町外の方になるようですが、高齢者の実態把握はどのようにするつもりですか。

総務課長 1人暮らしの高齢者の方とか日中独居の方など、困っている方が対象となります。アンケート調査では移動頻度や移動時間、移動範囲、料金などのニーズを調べていきたいと考えています。総務課と福祉保健課で連携し、素案を作ってまいりたいと思っています。

町長 この件につきましては令和2年度の最優先事項と考えておりますので、できれば専任職員を置いて対応したいと考えています。

中村議員 外出支援経費は2年間で99万6千円の増となっており、喫緊の課題ですので是非考えていただきたいと思っています。

福祉保健課長 元年度の補正後の予算額は213万円となります。タクシー券の利用者は104名で未利用者22名ありました。また、タクシー事業者

は8社となります。

山崎議員 タクシー券は使い勝手が良いと感じていますが、22名の方が使わなかったとのことです。使いたくても使えない方への対応はどうするのですか。

福祉保健課長 対象者については1人暮らし高齢者、日中独居の方、運転免許証を持つていない方、障がい者のうち町長が認めた方となりますが、使いたくても使えない方の存在を聞いていません。もしそういった方がいたら保健師と相談して対応していきます。

武藤議員 保育所給食費は昨年度より約400万円減額となっていますが、完全給食にはならないのでしょうか。

保育所長 園児は毎日ご飯を持参し、週に1度はパンの日を設けています。町としては副食及びデザートのみを提供していますが、完全給食につきましては町長と相談したいと思っています。

町長 今は0歳児から2歳児までの保



ブックファースト読み聞かせの様子

育無償化の話が始めています。保護者に多少の負担をいただくことも組み合わせて考えていきたいと思っています。

山崎議員 ブックファースト、ブックセカンド、ブックサードまで事業を実施していただけるとのことです。本1冊ずつの提供とのことですが、もつと充実を図ってもらいたいのですが。

福祉保健課長 ブックファーストについては7ヶ月の子どもに1冊を選んでもらう事業で、3歳児にも同様に提供するものです。ご意見を踏まえて検討させていただきます。

岩田議員 清掃費に計上されているウッドチップについて教えてください。

産業振興課長 直径10cmほどまでの枝をチップにする機械で、1台は自走式、もう1台はリアカー的なものの購入を予定しています。利用者に貸し出さし、ごみの減量化を図るためのものです。

山崎議員 農林業用の大型の機械を購入するより小型除雪機と同様に各区に家庭用サイズのを置くほうが効果的だと思います。1台5〜6万円程度のものではないかと思いますが。

産業振興課長 電気式のもの是非常に力が弱いので、10cmほどの枝を処理するにはそれなりの機械が必要です。自走式のもの50万円くらいから出ていますので、そちらを購入したいと考えていますが、小型のものがよければ公民館などにおくようにしたいと思いますが、無駄にならないように検討して

いきたいと思っています。

山崎議員 リサイクルステーションの運用計画を教えてください。

産業振興課長 公共用地にコンテナを3台設置し、24時間体制で収集を受け入れるものです。ビン、缶、ペットボトルの3種類に衣類を追加するものです。

山崎議員 町内の1箇所を集めて24時間収集することですが何%の町民が持つてくれるのですか。

産業振興課長 若い世帯を対象とします。グリーンセンターでも同様の収集を考えていますので町内2箇所となります。

山崎議員 自動車をもっている家庭のみを対象として考えているのですか。

産業振興課長 基本的に今あるゴミステーションはそのまま活用し、それにプラスして若者世帯を対象として新たなリサイクルステーションを増やすものです。近隣でも同様の事業を取り入れている自治体があり、衣料だけでも10ヶ月で1.5tも出るとのことです。町としては衣料の再利用を考えているところです。

山崎議員 若者世帯をとのことですが、高齢化が進む中で高齢者などの交通弱者を置き去りにしていいのですか。

産業振興課長 既存のゴミステーションに追加するという考えです。高齢者の隣近所の方に運んでいただければ出すことはできると思います。

山崎議員 ごみステーションの細分化

には大賛成です。新たなステーションを設けるのではなく、既存のゴミステーションを細分化すればいいのでは。わざわざ別の場所に運ぶことに町民の協力が得られるのかどうか、調査しているのですか。

産業振興課長 新しい事業は町の取り組み姿勢を町民に周知するのが目的で、ごみ袋の有料化を視野に入れる中で考えたものです。

山崎議員 新しいシステムを運用するには町民目線での有効利用ができるかどうかの議論が先だと思っています。高齢者の交通弱者対策などの計画を立ててから実行すればいいのではないですか。議論より先に物を購入しても失敗に終わる可能性が大了。町民皆様の協力体制を構築することが肝要だと思います。とにかく予算の執行は議論の後にしていただきたいと思いますが、町長のご意見を伺います。

町長 方法論については先に予算を投入してから考えていただく方法と、先に議論をしてから実行に移す方法との2通りあると思いますが、この問題については山崎議員の意見を尊重し、町民の意見を聞いてから行いたいと思います。

勝俣議員 環境対策経費の河川水質検査ですが、検査結果を提示していただけませんか。

産業振興課長 桂川、中野川、柄杓流川の3河川とも水質的には問題ありませんでした。マイクロプラスチックの検査はしておりません。

武藤議員 ごみ処理施設先進地視察経費が計上されていますが、どこを視察予定ですか。

産業振興課長 最新の処理施設を議員、区長、職員で見学する予定です。

甲府市内や杉並区など、平成29年度以降に稼動した施設を見ていただきたいと考えています。

山崎議員 グリーンセンターのボイラー交換工事は、排熱を利用したシステムの検討をしていただきたいと思います。初期投資はかかりますが、ランニングコストが大きく下がりますので是非ご検討ください。

産業振興課長 予算を組む際にそこまで考えていませんでした。予算の許す範囲で検討し、可能であればシフトしていきたいと思っています。

山崎議員 松くい虫防除事業の費用対効果についてどのように考えていますか。製材所に聞くと松くい虫が入った後では買うことはできないとのことですが、毎年300万円ほど費用がかかっています。事業の検証をしているのですか。

産業振興課長 事業費の半分を県の補助で賄っています。景観又は資産という観点から毎年実施しており、今後実施したいと思っています。

山崎議員 町営住宅長寿命化計画の内容を教えてください。



町営住宅 月夜の平団地

建設水道課長 住宅のリフォーム計画となります。入居されている方の意向調査を実施していくものです。

瀧口議員 木造住宅耐震改修60万円はいくらの工事費で設定しているのですか。

前田主幹 全国統一の国の補助金で、1件あたり40万円の工事費を設定しています。

柏木議員 現積載車は災害用機材車両として残した方がいいと思います。

総務課長 災害用機材はそのまま残したいと思いますが、軽自動車になるので軽自動車に搭載される可能な限りでお願いしたいと思いますが、既に配備されている第2分団、第3分団の話も聞いていただければと思います。

山崎議員 小学校体育館へのLED設置の考えをお聞かせください。

教育長 中学校体育館は非常に明るくなったと好評を得ています。電気料も少なくなり、灯具の交換も少なくなることから替えていきたいと思いますが、すぐには難しい状況です。

ジェネリック医薬品の啓蒙強化を

令和2年度 西桂町介護保険 特別会計予算

（主な委員質疑）

岩田議員 被保険者世帯数、被保険者数を教えてください。

税務住民課長 2月1日現在ですが540世帯、909人が被保険者です。
山崎議員 ジェネリック医薬品を推奨していますが社保では薬を指定するなど、より厳しい内容です。国保でも同様に啓蒙していただきたいと思いますが。
税務住民課長 年6回の医療費通知発

令和2年度 西桂町介護保険 特別会計予算

（主な委員質疑）

山崎議員 介護予防住宅改修の内容を教えてください。

福祉保健課長 階段や廊下等への手すり設置がほとんどを占めます。
山崎議員 対象工事を教えてください。
福祉保健課長 上限20万円のうち、18万円の補助があります。

武藤議員 情報化推進事業の増は新規事業でしょうか。
福祉保健課長 包括支援センター支援システム導入で、新規の事業となります。近隣市町村で当町のみ導入していませんでした。

武藤議員 構築費のみの計上ですか。
前田主幹 パッケージ及び移行作業費が含まれます。

送の際にジェネリック医薬品と正規医薬品の差額通知を入れているところです。



介護予防事業 転倒予防教室の様子

武藤議員 通所型サービスの高齢者サロンについて教えてください。

前田主幹 各地区で高齢者が集まる場所を作っていく事業です。

山崎議員 この事業を介護会計の予算で実施することに違和感があるのですか。

福祉保健課長 地域包括、介護にならないための居場所作りを介護の予算で行っていくものです。

山崎議員 ばいかもと連携して事業を進めてください。

令和2年度 西桂町簡易水道 特別会計予算

（主な委員質疑）

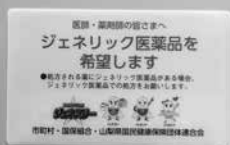
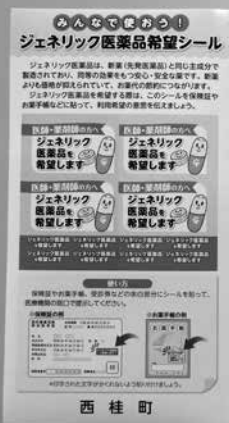
山崎議員 過年度使用料の状況を教えてください。

相澤主幹 50万円ほど滞納があり、そのうち10万円は徴収済みとなっています。今後とも徴収に努力していきます。

武藤議員 固定資産台帳整備と基本計画策定は毎年行うのですか。

建設水道課長 今年度のみ事業となります。

武藤議員 介護保険計画ニーズ調査の内容を教えてください。
福祉保健課長 3月16日に調査書を提示したいと思っています。町内120名の方に通知していますので皆さまのところにも届いていると思います。
武藤議員 調査結果がわかりましたら教えてください。
福祉保健課長 現在集計中です。新年度に提示させていただきます。



ジェネリック医薬品普及啓発用
「保険証カードケース」と「医薬品希望シール」

GIGAスクール構想 小中学生に1人1台タブレット端末

文科省が進めるGIGAスクール構想 全員協議会にて概要説明

教育委員会次長 GIGAスクール構想は、児童生徒一人一台端末及び通信ネットワークの整備を推進する構想です。国の補助金を生かして令和2年度

に中小学校のネットワーク環境を整備し、令和5年度までに児童生徒一人一台の端末整備を進めたいと考えております。

令和元年度西桂町一般会計補正予算

(主な委員質疑)

岩田議員 特別交付税の増額理由は、

企画財政課長 特別交付税には12月ルール分と3月ルール分という算定基準はあるものの、そればかりではなく、

不透明な部分があります。過去3年間の実績により補正後の額を9000万円まで増やしましたが、最終補正ではもう少し延ばせるのではないかと思っています。

武藤議員 わくわく移住支援金の内容は、

企画財政課長 県の就職マッチングサイトに登録した事業者に就職した都内、首都圏からの移住者がある場合に助成されるもので、国50万円、県25万

円の助成制度です。本年度は該当者がいませんでしたので皆減としました。

山崎議員 有害鳥獣捕獲頭数が大幅に伸びていますが、今後の見込はわかりますか。

産業振興課長 12月10日から1月15日の間にほとんどのサルを捕獲しました。1月末からは大型檻を閉めている状況です。今後も市町村連携により同じ程度の捕獲頭数はあると思っています。

岩田議員 いきいきセンター指定管理者への支援金の説明をお願いします。

福祉保健課長 平成29、30年度のばいこもの経営状況が赤字だったため施設の共同負担金について支援を行うもの

です。

町長 ショートステイが収益があることがわかつていのでできるだけ早くショートステイができるような体制を望んでいるとお願ひしています。

岩田議員 グリーンセンターの指定管理者の状況報告をお願いします。

産業振興課長 毎月、月ごとの報告はありますが、大変厳しい状況と聞いて

います。年度締めを6月定例町議会に提出していきたいと思っています。

瀧口議員 車椅子で避難するのに前進するのが困難な状況と聞いており、車椅子での移動に補助装置をつければ1/5の力で動くので、町で1台購入していただき、町民への啓発をお願いしたいと思います。

町長 今後研究させていただきます。

令和元年度西桂町国民健康保険特別会計補正予算

(主な委員質疑)

武藤議員 基金積立金の2400万円はどう捻出しているのですか。

税務住民課長 国保税を充当しています。

武藤議員 基金積立金の2400万円に対して国保税は1726万2千円だけです。説明になっていませんよ。

岩田議員 この補正で来年度への繰越金も出るのでしょうか。

企画財政課長 国保税の調定や繰越金、県の普通交付金等も合わせて歳入

補正額の3302万8千円に対し、歳出で補正を要する額の合計が少なかつたために基金積立を2400万円すること歳入歳出を合わせたものと思います。単式簿記ということで基本的に歳入歳出の額を同額にしなければならぬ関係での基金積立だと理解をお願いします。また、次年度歳入の繰越金は1300万円となっていたので、その額はクリアできる決算になるものと思います。



下水道管渠布設工事

令和元年度 西桂町下水道 特別会計補正予算

(主な委員質疑)

山崎議員 受益者負担金の過年度分が93万7千円補正となっていますが、改善方向に向かっているのか滞納額が増えているのか教えてください。
建設水道課長 改善方向に向かっています。

山崎議員 歳入の見込みが当初の時点で立っていないから1千円の科目存置にしたということですか。比較できる数字で説明してください。

下水道係長 前年度の滞納額は520万2千円ありましたが、93万8千円徴収しましたので、現在の滞納額は426万4千円となり改善してきております。

令和元年度補正予算額 賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一般会計	△9,409万円	23億3,116万円
国民健康保険特別会計	3,303万円	4億 315万円
後期高齢者医療特別会計	△22万円	8,816万円
介護保険特別会計	442万円	3億9,601万円
簡易水道特別会計	△200万円	6,872万円
下水道特別会計	△321万円	1億9,132万円

補正予算の主な内容

(※全会計において、事業終了による事業費の減額更正あり)

一般会計補正予算(第5号)

○歳入 町税 1397万円増額、地方消費税交付金 392万円増額、地方交付税 3267万円増額、使用料及び手数料 77万円増額、県支出金 672万円減額、寄附金 314万円増額、繰入金 1億3290万円減額、繰越金 698万円増額、諸収入 1805万円減額、町債 244万円増額
○歳出 総務費 3657万円減額、民生費 2592万円減額、衛生費 1398万円減額、農林水産業費 715万円減額、商工費 149万円減額、土木費 1675万円減額、消防費 317万円減額、教育費 1323万円増額

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

○歳入 国保税 1726万円増額、県支出金 786万円増額、繰入金 320万円減額、繰越金 1110万円増額
○歳出 総務費 20万円減額、保険給付費 923万円増額、基金積立金 2400万円増額

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

後期高齢者医療負担金 22万円減額

介護保険特別会計補正予算(第4号)

総務費 89万円減額、保険給付費 112万円増額、基金積立金 491万円増額、地域支援事業費 72万円減額

簡易水道特別会計補正予算(第1号)

総務費124万円減額、維持管理費35万円減額、改良費40万円減額

下水道特別会計補正予算(第3号)

管理費 273万円減額、新設費 48万円減額

3月定例会・条例改正等 賛成全員

条 例 名	主な内容
富士五湖ふるさと市町村圏基金に対する出資金にかかる権利の放棄について	富士五湖広域行政事務組合で設置する「富士五湖ふるさと市町村圏基金」を取り崩し、富士五湖広域行政事務組合の新庁舎建設事業の経費として活用するため、地方自治法の規定により、同基金に対する出資金等にかかる権利を放棄するもの
西桂町印鑑条例の一部改正について	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行により、成年被後見人も一定の条件のもと、印鑑の登録を受けることができることとする改正
西桂町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	西桂町国土強靱化地域計画検討委員会委員への報酬の支払いおよび消防団員の処遇の改善を図り、消防団員の報酬を見直すための改正
西桂町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	西桂町フルタイム会計年度任用職員の期末手当を職員と同一にするための改正
西桂町パートタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	西桂町パートタイム会計年度任用職員の期末手当を職員と同一にするための改正
固定資産評価審査委員会条例の一部改正	行政手続オンライン化法がデジタル手続法に改められたことにより、固定資産評価審査委員会に提出する評価者側の弁明書などが電子媒体による提出も書面での提出と同様の扱いとして認めることとする改正
西桂町手数料条例の一部改正について	デジタル手続法の一部を改正する法律の施行に伴い、通知カードが廃止されることによる通知カードに関する規定を削除する改正
西桂町いきいき健康福祉センター設置および管理運営に関する条例の一部改正について	受益者負担の適正化を図るため、いきいき健康福祉センターの施設の利用料の額を改正前の利用区分を「1人あたり」から「部屋貸し」への改正
西桂町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正について	所得税法等の一部を改正する等の法律が施行されたことに伴い、配偶者控除及び配偶者特別控除の取り扱いが改正され、「控除対象配偶者」の定義を改め、「同一生計配偶者」と名称を変更する改正
西桂町営住宅設置及び管理条例の一部改正	民法の一部改正による債権関係の規定の見直しや単身高齢者の増加など公営住宅を取り巻く最近の状況を踏まえ、町営住宅の入居についての要件を緩和するための改正
西桂町給水条例の一部改正について	事業の実態の把握及び資質の維持・向上を図ることを目的とする水道法の一部改正に伴う指定給水措置工事事業者への事業に関する手数料の改正



川村達彦 氏（倉見）

教育長の任命の同意
（全員賛成）



権守強志 氏（柿園）

人権擁護委員の推薦
を求める（全員賛成）



小中学校 PTA・育成会役員・スポ少指導者の皆様との意見交換会が
2月19日に開催されました。

高校生の医療費無料
化についても窓口無
料化にしてほしい

スポーツ少年団の活躍を
「広報にしかつら」に掲
載してもらいたい

小学校体育館の照明を
LED化してほしい

小学校に入っているWi-Fiをフリー
化してほしい

意見交換会について



頂いたご意見は、第二回開催の各種団体の皆様から頂いたご意見と
合わせて意見書を作成し、町長へ提出致します。

事務調査
3月13日実施

太陽光発電施設に関する
条例の確認について

(委員会調査結果)

国・県のガイドライン改訂に伴い、
町条例の整備方針及び、国や県に対
して今後の法制化を要望していく町
執行部の取り組み姿勢を確認いたし
ました。

(山崎議員提案理由説明)

9月定例町議会において議決した
条例について、より厳しい内容での
見直しが必要と思い、町行政の考え
を聞きました。

(産業振興課概要説明)

3月改訂により豪雨時の雨水対策
や設置後の維持管理について、事業
地が山林や傾斜地が多い本県の特徴
を踏まえ、工事中や完成後の土砂流
出防止対策、環境に配慮した設計が
挙げられます。

ガイドラインでは設置を認めない
とは書いてありませんが、設置を避
けるべきエリアとして砂防指定地、
地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危
険区域、土砂災害警戒区域、土砂災
害特別警戒区域が指定となります。
で、条例で規制していく考えです。
今後は国・県へ法制化を要望してい
きたいと考えております。

(主な委員質疑)

山崎議員 近隣の山林に設置された
太陽光施設など、県のガイドライン
を満たしているとは思いますが、住
民目線でみると満足のものでは
ありません。近年は大規模災害が頻

繁に発生しており、国や県は「未だ
かつてない未曾有の災害」との認識
の中復旧に取り組んでいます。西桂
町の面積の大部分は山林であり、現
在の設置基準では大規模災害に対
不足と思います。国や県では行き届
かない部分を町の条例できめ細かく
謳うべきだと思います。

産業振興課長 町としては国・
県のガイドラインを守らなければな
りません。町としては、国・県に太
陽光発電施設関係の法制化について
強く要望してまいります。

山崎議員 当町の条例が他の自治体
より厳しい内容であることは評価し
ていますが、国の法令に違反しない
限り条例で規制できますので、より
厳しい内容の条例にしていきたい
と思います。

産業振興課長 今後とも引き続き努
力していきます。

武藤議員 防災面、環境面、景観面
について県のガイドラインではどう
いった配慮をするのでしょうか。

産業振興課長 パネルの色について
の規制、遊歩道からの遮蔽について
も規制されています。

瀧口議員 産業振興課には引き続き
がんばって頂きたいと思います。

産業振興課長 行政として自然エネ
ルギーを推奨していかねばなら
ませんので、ご理解をお願いいたし
ます。

事務調査
3月13日実施

大門町の桜並木剪定における決定過程及び 住民コンセンサスの取り組みについて

(委員会調査結果)

桜の枝木の剪定範囲や作業内容の決定経緯、区要望事項を中心とした対象住民の合意形成に関する町執行部の考え方を確認いたしました。

(山崎議員提案理由説明)

住民の関心も高く、多くの問合せを頂いています。住民との合意形成にどのように取り組んできたのか経緯説明をお願いします。

(産業振興課概要説明)

柿園区要望事業であり、区と相談の上、枝の剪定を行いました。令和元年度には桜老木による被害状況の確認を行い、業者及び桜守りの方とも協議し、安全確保のための剪定範囲の設定を行いました。

剪定日当日は住民総出で業者に指導をされ、剪定後に防腐剤を塗布いたしました。

(主な委員質疑)

山崎議員 千本桜の里整備方針によりますと、「町民参加による、保護管理を進め、豊かな自然や人びとの生



大門町桜並木

活の中で、地域社会の将来を担う次世代の創出・育成に活用し、地域コミュニティの維持・再生とコンパクト・セーフティー・タウン西桂を目指す宝とする」とあり、行動方針では住民参加による桜の保護管理として「将来にわたり保護管理できる意識作りの推進」、「観光利用と町民自らが楽しみ、学ぶ体制作りの推進」とあるように、住民と一緒に考えていくと謳われています。今般の桜剪定における行政が考えた住民の合意形成を教えてください。

産業振興課長 周辺に住んでいる住民の方が対象と思っています。柿園区要望事項でしたので、柿園区の1組2組3組を対象と考えていました。区要望として上がったものは組長からの要望時に合意形成が図られていると判断しています。

山崎議員 今回の合意形成は不十分だったと思います。今後は行政として細心の注意を払い、意見集約に踏み込んだ形で取り組むことを期待します。

産業振興課長 合意形成は非常に難しい問題です。区要望事項については組の全ての方々の合意があるものと認識していましたが、今後このようなことのないように庁議等で検討します。

事務調査
3月13日実施

さくら祭りの開催日について

(委員会調査結果)

さくら祭りの開催日決定過程及び決定根拠について確認いたしました。

(中村議員提案理由説明)

気温の温暖化に伴い、今年は早めの開花が予想される中であって、例年より1週間遅い4月11日、しかも土曜日にさくら祭りを実施と聞きましたが、なぜ春祭りと同じ日に設定したのか聞かせてください。

(産業振興課概要説明)

近年は4月の第1日曜日を主として開催してきましたが、希望の桜の植栽に招待する関係者の都合に合わせる形で4月の第2土曜日に開催することになりました。

(主な委員質疑)

武藤議員 従来は4月14日、15日を春祭りの日としていましたが、近年は14日の直前の土日に決まっていますので、今後はそこを外した形で対応していただきたいと思っています。

産業振興課長 5年ほど前に4月14日、15日に1番近い土日に設定と聞いていました。そのため、3月末若しくは4月の第1週となりますが、川浚いが4月の第1日曜日で利用す



昨年のさくら祭りの様子

る公用車が重複してしまう関係から4月第1週に行う場合は土曜日に設定していました。今後は、庁内の課題としていきたいと思っています。

中村議員 4月11日は宇宙飛行士が来るのですか。

産業振興課長 招待している(二財)ワンアースの代表が宇宙桜の事業計画を立てた人で、宇宙飛行士です。希望の桜は復興のシンボルとして東日本大震災の被災地を中心に植樹されていますが、一方で地域資源、観光資源との側面もあり、町のシンボルとして4月11日の植樹は予定どおり実施したいと考えています。

事務調査
3月13日実施

ごみ焼却施設に関する 町長の考えについて

(委員会調査結果)

米倉地区を郡内地区Bブロック一か所のごみ焼却施設の候補地として受け入れる旨の町長の決断及び固い意思について確認いたしました。

(武藤議員提案理由説明)

12月定例町議会において経緯等の説明がありました。改めて事務調査とし、今回の調査修了後も継続調査とします。

(企画財政課・産業振興課概要説明)

本日配布した資料は全て12月の全員協議会にて使用した資料で、富士五湖広域関係では特段の進展はありませんが、町からは中央道から桂川までの全てのエリアを含めてほしいと要望しており、回答は得られておりません。

2月29日に都留市中津森地区の住民説明会が開催され候補地の場所については旧谷村信用組合から1.5kmほどの場所、進入路や河川の付け替えについて県と協議済みと聞いています。都留市中津森地区と当町米倉地区の2件がそれぞれ提案されるようです。Bブロック全体の会議は5月中旬に開催予定です。

(町長説明)

去る11月に富士北麓地域市町村から提案されている米倉地区について、提案を受け入れる決断をしました。富士北麓圏6市町村のみでは多額の負担金が懸念されますので、Bブロック全体の候補地としてです。全体協議会の中で、中津森地区と米倉地区の評価をしていきたいと考えています。また、NESIC陸上養殖からは、米倉地内に施設が建設されても問題ないとの回答を得ております。本日のこの会議で議員の皆様のご意見を聞く中で決定していきたいと考えており、決定するからには絶対に譲れない覚悟をもって対応していきます。

富士山に登る方や観光客が「ぜひ見たい」と思う施設にするよう、付帯条件を付けたいと考えています。

(主な委員質疑)

武藤議員 今後も議会との意思疎通を図り、逐次説明をお願いします。
町長 市町村長と話した内容については情報交換を図っていきます。

事務調査
3月13日実施

桂川河川護岸工事について

(委員会調査結果)

県営事業における町の関わり方や地域の自然資源に対する町の取り組み姿勢について確認いたしました。

(山崎議員提案理由説明)

桂川河川護岸工事の工事方法等について確認させていただきます。

(建設水道課概要説明)

桂川は一級河川であり、山梨県が維持管理するもので、工事については台風19号による災害工事、県からの依頼があれば町が住民コンセンサスを図るものではありません。

(主な委員質疑)

山崎議員 大雨時に川底が浚われた危険な場所であり、工事によって危険の解消が図られ安堵しています。

住民コンセンサスについては県からの依頼がなかったため行わなかったとのことですが、桂川は溶岩流の露出が多く、富士見橋から大橋にかけては溶岩流が自然資源として顕著な場所でしたが、工事により溶岩流が破壊されてしまいました。町としてはこの溶岩流資源をどのように考えているのですか。

建設水道課長 工事をする際に、仮

設道路をどうするのかは疑問に感じていましたが、工事の過程の中で溶岩流を崩してしまうとは思っていませんでした。

山崎議員 地域の自然資源のリストを作っておき、保護してほしいものとして残しておけば県としてもコンセンサスを図るきっかけになると思います。工事によって住民が大切に思っているものが壊されることのないように、資源のリストを作っておくべきだと思います。

建設水道課長 今後検討します。県にも報告し、要望しておきます。

瀧口議員 毎年多くの災害があることから、全国の自治体では担当者が土砂崩れの想定される箇所を実際に歩いて調査しています。町でも住民からの要望に頼らずに、職員が自ら現地を歩いて計画を立案し、積極的に事業を実施していただきたいと思います。

建設水道課長

今後検討します。





武藤隆義 議員

問 災害時、町民を守るための指定避難場所の運営体制及び設備は十分か？

武藤議員

近年は、温暖化に伴う集中豪雨の増加や台風の大規模化などの影響により、全国各地で土砂災害が頻発しています。

昨年10月に発生した台風19号では、県内各地に「家屋や農業用ハウスの全壊・半壊」「床上・床下浸水」「土砂崩落」「橋梁崩落」など甚大な被害をもたらしました。

本町では、早めの「避難勧告」を発令したことにより、町民の方々が余裕を持つて避難できたことは、大きな成果だと思えます。最終的には、きずな未来館へ24世帯60名、中学校体育館へ19世帯50名、いきいき健康センターへ3世帯7名の方が避難されました。今まで経験したことのない人数の町民の方々が避難したわけですから、現場では、戸惑うことが多々あったかと思っています。・身障者の方が避難されてきた場合に、避難場所を選択する「福祉支援室」が開設されていない。・長期化した場合に使用するための「調理室」「風

呂」がない。・避難場所への入退室ルールが確立していない。など、いつ発生するかわからないのが災害です。各種マニュアルを見直し、整備に、至急取り組んで頂きたいと思っています。

また、実際に動くのは、職員の方々です。誰が何をするのか、担当がない場合は、誰が変わりをするのかなど、マニュアルを見なくもしつかり行動できるよう、日頃から研修、訓練をして頂けることを期待しています。

次に、指定避難場所についてお伺いします。昨年の台風19号では、「西桂中学校体育館」「きずな未来館」「いきいき健康福祉センター」へ避難して頂きました。

「中学校体育館」ですが、耐震については十分であると思いますが、猛暑の夏だったり、極寒の冬だったり、災害は季節を選びません。長期の避難生活はありますが、冷暖房設備の心配はありますが、冷暖房設備のない「中学校体育館」は災害時に町民を守る施設としては不十分

答 災害時職員初動マニュアルを作成、現設備を有効的に活用

だと考えます。「冷暖房設備の設置」「シャワートイレへの取替」など、避難者の身になった施設になるよう考えて頂きたいと思っています。町長のご意見をお聞かせ下さい。

小林町長

議員ご指摘のとおり、台風19号による避難所の課題は多く、特に、避難者のバイタルチェックを行い適切な避難場所へ誘導する福祉避難室等に関しては、災害時職員初動マニュアル及び職員行動マニュアルに位置づけ対応し、職員の参集・指示の伝達等については、地域防災計画に詳細に記入していく所存です。

避難所運営マニュアルにつきましては、西桂町地域防災計画と関連がありますので、並行して整備してまいります。当該マニュアルを基に職員向けの訓練も併せて実施して考えております。

現在、きずな未来館には、大雪の経験を活かしてシャワー室を設置しております。また、近くのいきいき健康福祉センターは、現在指定管理となっており

ますが、災害時には避難所として活用するとともに、避難者全体の公衆衛生の保持を図ってまいります。

当町の指定避難所である小中学校の体育館においては、多くの財源を必要とする冷暖房設備等についても町民の避難所での健康等を配慮すると、必要であることは認識しております。ホストタウン事業として、スポーツクーラーをレンタルで導入する予定でありますので、その効果を検証していく必要があるものと思われます。

今後の町の対応としては、避難所生活の長期化あるいは災害発生の時期など、臨機応変に対応するため、冷暖房設備を完備している公共施設の中で、優先的な避難所開設に心掛け、きずな未来館、いきいき健康福祉センター、昨年冷暖房を整備した小中学校における普通教室など、町民の皆様の避難場所として利用できるよう、教育委員会や学校など関係機関と協議する中で、高齢者等弱者に配慮した避難所開設及び運営に取り組んでまいりたいと考えております。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その80



ST(スポンジテニス) 西桂の皆さん

訪問先

ST西桂

代表：前田 護

取材日：2月28日
中村議員、勝保議員

- 問** 代表者のお名前は
皆さん 前田護さんです。
- 問** スポンジテニスについて教えて下さい。
- 前田さん** ダブルス競技のみで、4ポイント制となります。
- 問** いつ頃から活動されていますか。
- 前田さん** 平成30年4月からです。
- 問** 活動場所はどちらですか。
- 前田さん** 西桂町中学校体育館で主に活動しています。
- 問** 活動頻度はどのくらいですか。
- 前田さん** 毎週金曜日の午後7時30分から9時30分です。
- 問** 会員数はどのくらいですか。
- 前田さん** 16名です。
- 問** どのような方が会員となっていますか。
- 前田さん** 町民と町出身者です。
- 問** 今後の目標は。
- 前田さん** ケガのないように続けられたらと思います。



スポンジテニスを一緒に楽しみませんか？

スポンジテニスは、テニスボールよりもやや大きめのスポンジボールと軽いラケットに、バドミントンコートを利用して行います。スポンジボールは通常のテニスボールよりも大きく、また軽いので、ラケットに当てやすく初心者、老若男女、楽しくプレーできます。

興味がある方はぜひ
見学に来て下さい

コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。（議会事務局：☎ 25-2121）

小学校入学式 4月6日



入学おめでとう！



発行責任者 西桂町議会議長 柏木 正
編集委員長／中村常実 副委員長／山崎泰洋
委 員／勝俣豊一・酒井基和・岩田裕展

本会議・委員会の傍聴をお願いします。

次回定例会は6月中旬です。

詳細は6月初旬、ホームページにて公表します。